

委員会のうごき

経済建設常任委員会

3月12日、13日、16日の3日間、付託された陳情1件の審査と所管の事務調査を行った。

(建設課)

通学路安全対策

山陰道名和IC開通により、国道9号線への接続道の交通量が大幅に増加することが明らかであることから、通学路の安全対策を目的に、町道上坪名和神社線の拡幅と歩道整備工事が行われる。平成21年度完了見込み。



歩道整備が急がれる西坪付近

問 町道の北側に歩道を整備する計画だが、県道との交差点で横断が1回増えるため、南側に付けた方がより安全ではないか。

答 交差点には信号機もあり、安全上支障はない。南側に整備すると、費用が3千万円以上余分にかかる。

(農林水産課)

問 JA営農センター、普及所との連携を密にし、もっと農業関連の情報発信、情報提供をすべき。

答 大山恵みの里計画推進のためにも積極的に取り組んでいきたい。

(大山振興課)

情報交流センター

問 用地取得費4700万円、単価1万7千円/m²は高過ぎるのではないか。

答 隣接する県道が、その額で買収されているため。できるだけ、安く買収できるように交渉したい。

企業進出

問 旧眺海荘の跡地利用は。

答 アウトドア用品販売のモンベルグループ(年商270億円)の直営店として活用してもらうことが内定した。同社には

海外を含め50以上の直営店があるが、中国地方では初めて。

店舗の改装費等、町の持ち出しが多いが、定期的に同社のクラブ会員(15万人)に大山のPRができ、大山のイメージ向上にも大きく役立つと期待している。



大山寺にモンベル進出(完成予想図)